

# 数値天体物理学サマースクール課題

松元亮治

2001年9月10日

## 1 1次元波動方程式(昨年の富阪さんの課題と同じです)

1次元スカラー移流方程式

$$\frac{\partial u}{\partial t} + c \frac{\partial u}{\partial x} = 0 \quad (1)$$

を FTCS スキームにより差分化すると

$$u_j^{n+1} = u_j^n - c \frac{\Delta t}{2\Delta x} (u_{j+1}^n - u_{j-1}^n) \quad (2)$$

となる。数値流束を

$$F_{j+1/2} = c \frac{u_{j+1} + u_j}{2} \quad (3)$$

$$F_{j-1/2} = c \frac{u_j + u_{j-1}}{2} \quad (4)$$

のようになると、上の差分式は

$$u_j^{n+1} = u_j^n - \frac{\Delta t}{\Delta x} (F_{j+1/2} - F_{j-1/2}) \quad (5)$$

のように書きかえることができる。以下のプログラムは初期に  $j = 1, \dots, 50$  に対して  $u_j = 1$ 、 $j = 51, \dots, 100$  に対して  $u_j = 0$  とし、クーラン数  $\nu = c\Delta t/\Delta x = 0.25$  として、50ステップ毎に各点での計算結果の  $u$  を出力ファイル output に出力するものである。このプログラムを Lax-Wendroff 法によるもの、空間 1 次精度の風上差分によるもの、流束制限関数として minmod 関数を用いたものに書きかえなさい。また、計算結果をグラフ表示しなさい。

```
*****|  
*      FTCS Program  
*****|  
integer nx  
parameter (nx=100,ns=3)  
real*8 u(1:nx),F(1:nx),c,dtdx  
integer j,step
```

```

=====
c=1.0
dtdx=0.25d0
-----
* / Set initial condition /
-----
do j=1,50
  u(j)= 1.0d0
enddo
do j=51,nx
  u(j)= 0.0d0
enddo

-----
* / Output /
-----
open(unit=10,status='new',file='output',form='formatted')
write(10,100) nx
write(10,100) ns
do j=1,nx
  write(10,100) j
  write(10,101) u(j)
enddo
100  format(i5)
101  format(f6.3)

=====
* / Time integration /
=====
do step=1,100
  do j=1,nx-1
    F(j)=0.5d0*c*(u(j+1)+u(j))
  enddo
  F(nx)=F(nx-1)
  do j=2,nx
    u(j)=u(j)-dtdx*(F(j)-F(j-1))
  enddo
  u(1)=u(2)
  if (mod(step,50).eq.0) then
    write(*,*)
  enddo
end

```

```

* / output /
*-----
      do j=1,nx
        write(10,100) j
        write(10,101) u(j)
      enddo
    endif
  enddo
  close(10)
*=====
end

```

## 2 1次元拡散方程式

1次元波動方程式のプログラムを参考にして1次元拡散方程式

$$\frac{\partial u}{\partial t} = \kappa \frac{\partial^2 u}{\partial x^2} \quad (6)$$

を FTCS スキームを用いて解くプログラムを作成し、適当な初期条件を設定してシミュレーションを行い、結果をグラフ表示しなさい。

## 3 1次元基本課題パッケージの利用

1次元基本課題パッケージのディレクトリ md\_scalar 中にある main.f には FTCS スキームによって1次元波動方程式の解を求めるプログラムが入っている。これを Lax-Wendroff スキームに書きかえて make し、結果をグラフ表示しなさい。